



母になるよりいじゅそ63

郡司明子
(大学教員)

季節は巡り、春から初夏へ。Yの成長を応援するかのごとく、あちらこちらで木々の新芽がほころび、長い眠りから覚めた草花がひよこっと顔を出しています。そこにYの生命も呼応しているようです。

この間にYは生後6か月からミラクルな9か月を迎えました。ずりばいだった移動手段は、少しずつお尻が上がり、ついに、はいはいに。お座りから立つち、伝い歩きにも余裕が出て、徐々に変わりゆく視界の広がりを楽しんでいます。離乳食も始まり、手づかみで

食べることを好むようになった矢先、下の歯がちよこんと見えてきました。

215日目：離乳食開始

ここまでどれだけ夫婦で口論(けんかとも言ふ)を重ねてきたことか。Yの離乳食開始の時期をめぐり、はたまた初めてのおかゆに使うお米をめぐり、調理器具をめぐり……。



郡司明子(くんじあきこ)
群馬大学准教授。専門・美術科教育。小学校教諭を経て現職。身体性を重視したアート教育を実践研究中。

だいたいが細かくてこだわりのある夫と、「まあ、いいんじゃない？」という、いい加減な私は、あらゆるところで衝突する。Yのために善かれと思う気持ちは同じだが、その尺度が異なるから、互いの了解を取りつけるまでに時間がかかる。

それで、Yの離乳食は生後7か月に入ってから。夫が気に入って取り寄せている無農薬無肥料の玄米を、この機に購入した精米機で精米し、浸水し、やれお米からコトコト土鍋で煮ること数十分、蒸らし、さらにヨーグルト状になるまで濾し、やつとの思いでできたおかゆをYの口に運んでみれば、ぺろり。離乳食初日は、この一さじだけです。

218日目：お布団プール

リビングに適度に柔らかい布団を敷き、その周りに家中の座布団やらクッションを並べ、

垣根を作る。その中でゴロゴロ動いて満たされていたY。最近、垣根を難なく乗り越えていく。

232日目：身辺材と共に

家に届く段ボール箱、その荷物を覆っていた梱包材や面白い質感の包み紙、ラップの芯など、いわゆる身辺材を集め、Yの遊び場に持ち込む。薄手の色紙をひらひらと空中に舞わせれば、Yも一緒に乃て全身で応答する。時にYは、段ボール片に手を置いて、ずりずりと床を前進する。偶然にも垂れたよだれの痕跡がドリッピングアートのようだ。しげしげとそれを見つめ、右手の人さし指ですーっと伸ばす。Yが生まれて初めて描いた瞬間。



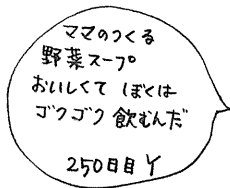
おふとんプールから出て、ラップの下まで冒險したよ
230日目

239日目：しょうゆ作り

近所の友人に誘われて、しょうゆ作り挑戦。大きな瓶に麴と食塩水を混ぜ合わせ、もろみを作る。Yを背負ってゆつくり手を動かす喜び。仕込んだ後、一か月までは頻繁に、その後は適度にかき混ぜ、もろみを育てていく。手間暇かけて時間をかけて発酵・熟成が進む。これから変化していくもろみの色や香りを楽しんでいこう。そしてしょうゆとして出来上がる頃に、私は復職の予定。

247日目：万能スープ

離乳食もようやく軌道に乗ってきた。わが家に欠かせないのが野菜スープ。ほろろ鍋に季節の根菜類をたっぷり入れて煮込み、毎



食便利に使い回す。一部はマッシュにして冷凍に。最後はひき肉を入れて大人のミートソースにしたり、豆乳や牛乳でのぼしてリゾットにしたり。変幻自在な万能スープの可能性をさらに追究しよう。

256日目：いない いない ああ

窓際が好きなY。風を受けて気持ち良さそう。しばらくして、カーテンを体にまとった次の瞬間、ぱっと顔だけこちらに向ける。これは……、思わず私も「いない いない ばあ!」とYの動きに合わせて声を掛けてみる。きゃつきゃと笑い、掛け声のタイミングで同じことを繰り返す。子どもからのメッセージは至る所に潜んでいる。

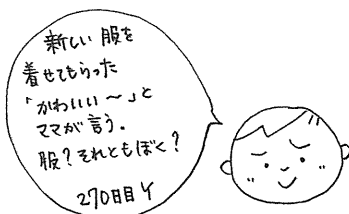
268日目：保育所へ

少しずつ仕事復帰に向けて準備を始める。まずはYの居場所が肝心だ。ご縁あって家か

ら近くの保育所で預かって
いただくことに。慣らしの
時期は週一日、しかも初日
は九十分。それでも私は一
週間前からそわそわ。何事
もなく過ごせるだろうか？
持っていく物は？ 着てい
く服は？ すべて記名でき
ている？ 書類を整え、一
つ一つの物にYの名前を書
き入れながら、ああ、親に
なっていくことを実感。

275日目：神経衰弱

はいはいで家中どこへでも行き、探索にい
そしむY。そんなYのお気に入り場所は、
立っちでちょうど手が届く本棚。そこは文庫
や新書のコーナー。隙あらば、片っ端から取



り出して、本体・カバー・帯を見事に分解し
てくれる。しばし本の海に漂うY。Yが去っ
た後に残るのは私の片付け。バラバラになった
物たちを組み合わせて元に戻す作業は、まる
で神経衰弱のよう。

278日目：母の日

みんな誰もが母親から生
まれてこの世にやって来る。
生んでくれてありがとう。
生まれてきてくれてありが
とう。命のリレーに感謝す
る日。出産を経て、ひとき
わ感慨深い日に。

— 続く —

